

### I-3 . HIV-1 感染者の HIV-1 特異的 CD8 T 細胞の解析

HIV-1 が HIV-1 特異的 CTL から逃避する機序の一つとして、アポトーシスなどの機序により、HIV-1 特異的 T 細胞の数が減少することが考えられている。エピトープを結合させた HLA クラス I 抗原を 4 つ結合させた分子 (テトラマー) を用いて、エピトープ特異的 CD8T 細胞をフローサイトメトリーで検出することが可能となった。われわれは、同定した多数のエピトープを用いて多数のテトラマーを作製し、これらを用いて HIV-1 感染者の HIV-1 特異的 CD8T 細胞の解析を行った。その結果、HIV-1 慢性感染者では多数の HIV-1 特異的 CD8T 細胞が存在することを明らかにした。さらに、CD28, CD45RA に対する抗体を用いた 4 color 解析で、HIV-1 慢性感染者での HIV-1 特異的 CD8T 細胞は、CD28-CD45RA- の memory/effector phenotype を持ったものが多いことが明らかになった (*AIDS*. 14:2049-2051. 2000. ) さらに CD27 を加えた 5-color 解析によって、CD27<sup>low</sup>CD28-CD45RA- の memory/effector 分画が増加していることが明らかになった。このことは、感染細胞から絶えず抗原提示を受けていることを示唆している。現在多数のテトラマーを用いて、HIV-1 慢性感染者の HIV-1 特異的 CD8T 細胞の機能・分化異常を調べている。